

## 7、考察と課題

前ページ迄に述べたように、小学部ではリズム・サーキット、合同体育、合同音楽、遊び、生活単元学習の5つの共通の指導場面を中心からだづくりに取り組み、一人ひとりの子供達の目標に迫ってきた。しかし、児童によっては、直接からだに関わる指導以外の指導も大切である場合がある。

そこで小学部では、一人ひとりの児童に個人目標を定め、その目標に近づくために必要なつきたい力を考えた。更にこの個人目標とつきたい力を押し上げる目標として、からだの個人目標とその他の個人目標を設定した。これを表しているのが下記の図である。この図をもとに小学部では5つの指導場面とそれ以外の指導場面での具体的な取り組みを考え、実践してきた。その取り組みについて次ページ以降述べてみたい。

個人目標

